

～「楽水乐山」～ の由来

住田高校を象徴するものとして、気仙川、清流、樺山、五葉山など住田の地形に関するものがあげられます。また、爽やか、活気、元気、挨拶など、生徒や学校の生き生きとした様子を表すものもあげられます。そこでこの両者を含み、本校の教育活動にも相通ずる意味を持つものとして、孔子の『論語』の「知者楽水、仁者乐山」（知者は水を楽しみ、仁者は山を楽しむ）を引用し、造語「楽水乐山」を作りました。「知者」とは、物事の本質を見抜き道理に達した人の意味であり、「仁者」とは仁徳を備えた人の意味です。この後、論語は「知者動、仁者静、知者楽、仁者壽（知者は動的であり、仁者は静的である。知者は人生を楽しみ、仁者は人生を長生きすることになる。）」と続きます。

1 平成30年度入学式



《呼名に元気に返事をする新入生》



《式辞を述べる鈴木広樹校長》



《ご来賓の皆様》



《新入生代表 瀬戸藍里さん 誓いの言葉》



《真剣な新入生の表情》



《神田謙一町長様のご祝辞》

4月9日（月）、平成30年度の入学式が、神田謙一町長様をはじめPTA・同窓会・各中学校長・学校評議員等々、多数の御来賓の方々をお迎えし盛大に行われました。高校生活への大きな希望と一抹の不安を胸に、新入生男子6名、女子16名、計22名が輝かしい高校生活のスタートを切りました。

新入生代表の瀬戸藍里さん（赤崎中出身）から、「校訓である『自主』『創造』『至誠』、伝統である『さわやかな挨拶』『きちんとした服装・態度』『まじめな仕事ぶり』をしっかりと理解し行動に移し、文武両道の精神でそれぞれの進路実現に向け頑張ります。さらに、自ら進んでボランティア活動に参加して、これから復興を担っていく若い世代として社会や地域の一員として認められる住田高校生になれるように頑張ります。」との力強い誓いの言葉がありました。

2 対面式・部紹介



《新入生の自己紹介》



《新入生代表挨拶
大谷海雅さん》



《校歌》



《アーチェリー部》



《硬式野球部》



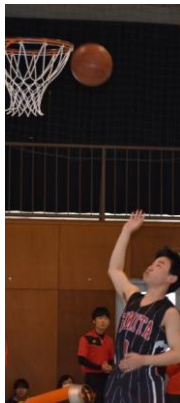
《ソフトテニス部》



《バレーボール部》



《陸上競技部》



《バスケットボール部》



《吹奏楽部》



《パソコン部》

4月10日(火)、新入生と在校生が初めて顔を合わせた日、対面式と部紹介が行われました。はじめに生徒会執行部が住田高校の行事などについて説明した後、新入生一人ひとりからの自己紹介が行われるとともに、新入生を代表して、大谷海雅さん(気仙中出身)が決意を述べました。その後は、先輩達による各部の部紹介が行われ、ひとりでも多くの部員を獲得すべく、どの部も工夫を凝らしたパフォーマンスを繰り広げていました。

3 お知らせ (平成29年度卒業生の進路状況)

【進学】

愛知工業大学〔工学部機械工学科〕、帝京大学〔文学部心理学科〕、東北学院大学〔文学部英文学科〕、東北文化学園大学〔医療福祉学部保健福祉科〕(2人)、八戸工業大学工学部〔機械工学科、システム情報工学科〕、富士大学〔経済学部経済学科〕、ものづくり大学〔建設学科〕、盛岡大学〔文学部社会文化学科〕、岩手県立産業技術短期大学校〔電子技術科〕、岩手県立産業技術短期大学校水沢校〔電気技術科〕、修紅短期大学〔幼児教育科〕、北上コンピュータ・アカデミー〔コンピュータ・システム科〕、北日本医療福祉専門学校〔薬業科〕、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ〔高度調理科、高度製菓衛生師科〕、気仙沼市医師会附属看護専門学校、国際医療福祉専門学校一関校〔理学療法学科〕(2人)、専修大学北上福祉教育専門学校〔保育科〕、土浦看護専門学校、盛岡情報ビジネス専門学校〔情報ビジネス科〕

【就職】

株式会社気仙沼商会、株式会社大力水産、株式会社ツルハ、株式会社マイヤ、コウノイケ・エアポートサービス株式会社、さいとう製菓株式会社、サンコー食品株式会社、住田フーズ株式会社(4人)、橋爪商事株式会社、自営(2人)、陸上自衛隊自衛官候補生
※上記順番については、五十音順です。

(文責：副校長 伊藤正則)